

## 【 要望 】

家から出たくない、出られない。でもこのままではなく何か変わりたい。

- ① 初回面談、状況確認。ご本人はどのように取り組みたいか、支援者は何ができてなにができないかを確認。双方合意があれば契約。

- ② 一回の訪問で1時間程度面談。支援者が話をしてもいい人になれたら、少しずつ話しを聞かせてもらう。



- ③ 無理になにかしなくてもいいことを前提に。ご本人が遊びや外出、勉強や生産稼働に組みたいことがあれば一緒に取り組む。



- ④ 自分の選択の幅が広がる。



## 【要望】

病気や依存症のこと、何が起きているのか学びたい。できれば家族にも自分のことをわかってほしい。自分の努力だけではなく、安心な環境をつくりたい。

- ① 初回面談、状況確認。ご本人はどのように取り組みたいか、支援者は何ができてなにができないかを確認。双方合意があれば契約。



- ② 一回の訪問で1時間程度面談。依存や病気を学べるワークブックの読み合わせを行い感想を語り合う。標準版家族心理教育を基盤としたアプローチに取り組む。



- ③ 自分や家族が取り組んでいること頑張っていることを知る。自分を応援してくれる人が増える。

- ④ 自分も家族も頑張っていることを知り、回復に良い環境が整えられる。



## 【 要望 】

公共交通機関が苦手などで生活圏が限られている。長い時間活動ができない短時間であることや、職場から配慮が得られていること、近所なら働けるかもしれない。

- ① 初回面談、状況確認。生活訓練、就労移行支援、ジョブコーチ支援、職場定着支援などを組み合わせて何ができるか、医療や制度の協力の選択肢、ご本人はどのように取り組みたいか、支援者は何ができて何ができないかを確認合意があれば契約。

- ② どのように働きたいか、調子の波や不調もありつつ責任をもって働ける時間はどれくらいかなど、働く希望のアセスメントを重ねる。



- ③ 職場開拓やハローワークからの求職活動支援。そのための通院同行や、役所などの関係機関調整支援。

- ④ 働くために必要な配慮や条件を伝えながら企業と交渉し働き続けるための配慮を得た仕事に就くことを目指す。



## 【要望】

部屋の掃除が苦手。部屋を綺麗にしたい。ホームヘルパーも入れる状況ではない。何か活動するにも家のことが気になってそれどころではない。



- ① 初回面談、家の状況確認。  
ご本人はどのように取り組みたいか、支援者は何ができて何ができないかを確認合意があれば契約。

- ② 一回の訪問で一時間程度部屋を掃除していく支援を実施。  
※支援者にまかせっきりの支援は受けられません。



- ③ 家が片付くころからホームヘルパー導入家が綺麗な状況を維持する。

- ④ 自分の好きな活動に取り組めるようになる。

